

---

# AMI を利用した Nextcloud 環境構築手順

株式会社スタイルズ  
2020/06/08

# はじめに

---

本ドキュメントは、AWS AMI (Amazon Machine Image) を利用して Nextcloud 環境を構築する手順となります。

## ■ 本ドキュメントを参照いただくにあたっての注意事項

- 本手順で構築できる環境は、Nextcloud の動作評価を行う用途を前提とした最小限の構成となっております。
- 手順の中で紹介している AMI で構築された Nextcloud の環境を利用した際に発生した障害、損害については当社では一切の補償をいたしません。
- 本格的な運用を行う場合は適切な環境設計を行っていただく必要がございます。環境構築支援が必要な場合は、当社にお問い合わせください。（別途有償）
- 当社に対する Nextcloud の利用に関する技術的なご質問については、当社提供の Nextcloud サポートを契約いただく必要がございます。

# 操作手順①

AWS マネジメントコンソールで EC2 メニューを表示します。  
東京リージョンに構築するため、あらかじめ「アジアパシフィック（東京）」に切り替えます。

The screenshot shows the AWS Management Console interface. The top navigation bar includes the AWS logo, a search bar, and a dropdown menu for the current region, which is currently set to 'バージニア北部' (Virginia North). The main content area displays the 'EC2' menu with various resource counts and options. A dropdown menu is open, showing a list of available regions. The 'アジアパシフィック (東京)' (Asia Pacific (Tokyo)) region is highlighted with a red box, indicating the target region for the tutorial.

リージョン	リージョン ID
米国東部 (バージニア北部)	us-east-1
米国東部 (オハイオ)	us-east-2
米国西部 (北カリフォルニア)	us-west-1
米国西部 (オレゴン)	us-west-2
アフリカ (ケープタウン)	af-south-1
アジアパシフィック (香港)	ap-east-1
アジアパシフィック (ムンバイ)	ap-south-1
アジアパシフィック (ソウル)	ap-northeast-2
アジアパシフィック (シンガポール)	ap-southeast-1
アジアパシフィック (シドニー)	ap-southeast-2
<b>アジアパシフィック (東京)</b>	<b>ap-northeast-1</b>
カナダ (中部)	ca-central-1
欧州 (フランクフルト)	eu-central-1
欧州 (アイルランド)	eu-west-1
欧州 (ロンドン)	eu-west-2
欧州 (ミラノ)	eu-south-1
欧州 (パリ)	eu-west-3
欧州 (ストックホルム)	eu-north-1
中東 (バーレーン)	me-south-1
南米 (サンパウロ)	sa-east-1

# 操作手順②

「インスタンスを起動」をクリックします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for the EC2 service. The main content area is titled 'EC2' and displays a summary of resources in the Asia Pacific (Tokyo) region. A table lists various resource types and their counts:

Resource Type	Count
実行中のインスタンス	4
Elastic IP	8
専有ホスト	0
スナップショット	45
ボリューム	12
ロードバランサー	0
キーペア	5
セキュリティグループ	31
プレースメントグループ	0

Below the resource summary, there is a section titled 'インスタンスを起動' (Start instances). This section contains a red-bordered box with the following text and buttons:

開始するには、クラウド内の仮想サーバーである Amazon EC2 インスタンスを起動します。

**インスタンスを起動** ▲

インスタンスを起動

テンプレートからインスタンスを起動する

The 'インスタンスを起動' button is highlighted with a red box, indicating the next step in the procedure.

# 操作手順③

Nextcloud を構築するための AMI を探して「選択」をクリックします。

利用 OS	AMI ID
RedHat Enterprise Linux 8	ami-0431d311897f051f7
RedHat Enterprise Linux 7	ami-00b60b90b80c24486

The screenshot shows the AWS console interface for selecting an AMI. The search bar at the top contains the AMI ID 'ami-0431d311897f051f7'. The search results display a single AMI: 'Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja\_JP' with the ID 'ami-0431d311897f051f7'. A blue '選択' (Select) button is highlighted with a red box. The left sidebar shows the 'コミュニティ AMI (1)' category selected, also highlighted with a red box. The bottom of the page contains a footer with 'フィードバック' (Feedback), '日本語' (Japanese), and copyright information for Amazon Web Services, Inc. (© 2008 - 2020).

# 操作手順④

インスタンスタイプは「 t2.micro 」を選択して「次のステップ: インスタンスの詳細の設定」をクリックします。 ※メモリ (GiB) が 1 以上のものを選択してください。

aws サービス リソースグループ

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

### ステップ 2: インスタンスタイプの選択

Amazon EC2 では、異なるユースケースに合わせて最適化されたさまざまなインスタンスタイプが用意されています。インスタンスとは、アプリケーションを実行できる仮想サーバーです。インスタンスタイプはさまざまな CPU、メモリ、ストレージ、ネットワークキャパシティの組み合わせによって構成されているため、使用するアプリケーションに合わせて適切なリソースの組み合わせを柔軟に選択できます。インスタンスタイプおよびそれをコンピューティングのニーズに適用する方法に関する [詳細はこちら](#)。

フィルター条件: **すべてのインスタンスタイプ** 現行世代 列の表示/非表示

現在選択中: t2.micro (可変 ECU, 1 vCPU, 2.5 GHz, Intel Xeon Family, 1 GiB メモリ, EBS のみ)

	ファミリー	タイプ	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス	IPv6 サポート
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.nano	1	0.5	EBS のみ	-	低から中	はい
<input checked="" type="checkbox"/>	汎用	t2.micro 無料利用枠の対象	1	1	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.small	1	2	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.medium	2	4	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.large	2	8	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.xlarge	4	16	EBS のみ	-	中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.2xlarge	8	32	EBS のみ	-	中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.nano	2	0.5	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.micro	2	1	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.small	2	2	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.medium	2	4	EBS のみ	はい	最大 5 ギガビット	はい

キャンセル 戻る **確認と作成** 次のステップ: インスタンスの詳細の設定

フィードバック 日本語 © 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

# 操作手順⑤

「次のステップ: ストレージの追加」をクリックします。

※必要に応じて構築先のネットワークを選択してください。選択の際は「パブリックサブネット」を選択してください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for configuring an EC2 instance. The breadcrumb trail at the top indicates the current step is '3. インスタンスの設定' (Instance Configuration). The main heading is 'ステップ 3: インスタンスの詳細の設定' (Step 3: Instance configuration details). Below this, various configuration options are listed, including instance count, purchase options, network settings, and IAM roles. At the bottom right, a red box highlights the button labeled '次のステップ: ストレージの追加' (Next Step: Add Storage).

aws サービス リソースグループ

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

### ステップ 3: インスタンスの詳細の設定

要件に合わせてインスタンスを設定します。同じ AMI からの複数インスタンス作成や、より低料金を実現するためのスポットインスタンスのリクエスト、インスタンスへのアクセス管理ロール割り当てなどを行うことができます。

インスタンス数 ① 1 Auto Scaling グループに作成する ①

購入のオプション ①  スポットインスタンスのリクエスト

ネットワーク ① vpc-c6f0daa1 (デフォルト) ② ③ 新しい VPC の作成

サブネット ① 優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルト) ② ③ 新しいサブネットの作成

自動割り当てパブリック IP ① サブネット設定を使用 (有効) ②

配置グループ ①  インスタンスをプレイズメントグループに追加します。

キャパシティの予約 ① 開く ② ③ 新しいキャパシティ予約の作成

IAM ロール ① なし ② ③ 新しい IAM ロールの作成

シャットダウン動作 ① 停止 ②

停止 - 休止動作 ①  停止動作に休止動作を追加する

終了保護の有効化 ①  誤った終了を防止します

モニタリング ①  CloudWatch 詳細モニタリングを有効化  
追加料金が適用されます。

テナンシー ① 共有 - 共有ハードウェアインスタンスの実行 ②  
Additional charges may apply when launching Dedicated instances.

Elastic Inference ①  Elastic Inference アクセラレーターを追加  
追加料金が適用されます。

キャンセル 戻る 確認と作成 次のステップ: ストレージの追加

フィードバック 日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

# 操作手順⑥

「次のステップ: タグの追加」をクリックします。

- ◆ OS や Nextcloud の領域として約 4GiB が確保され、残りが Nextcloud のファイル保管領域となります。必要に応じてストレージサイズを「サイズ (GiB)」の入力欄に入力して大きくすることができます。  
※ストレージサイズはデフォルトで 20GiB が設定され、これより小さくすることはできません。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for adding storage to an instance. The navigation bar at the top includes the AWS logo, service and resource group dropdowns, a search bar, and location/language settings. Below the navigation bar, a progress indicator shows seven steps: 1. AMIの選択, 2. インスタンスタイプを選択, 3. インスタンスの設定, 4. ストレージの追加 (highlighted), 5. タグの追加, 6. セキュリティグループの設定, 7. 確認.

The main content area is titled 'ステップ 4: ストレージの追加' (Step 4: Add Storage). Below the title, there is explanatory text: 'インスタンスは次のストレージデバイス設定を使用して作成されます。インスタンスに追加の EBS ボリュームやインスタンスストアボリュームをアタッチするか、ルートボリュームの設定を編集することができます。また、インスタンスを作成してから追加の EBS ボリュームをアタッチすることもできますが、インスタンスストアボリュームはアタッチできません。Amazon EC2 のストレージオプションに関する [詳細](#) はこちらをご覧ください。'

The storage configuration table is as follows:

ボリュームタイプ	デバイス	スナップショット	サイズ (GiB)	ボリュームタイプ	IOPS	スループット (MB/秒)	終了時に削除	暗号化
	/dev/sda1	snap-0304e33d26ebfed12	20	汎用 SSD (gp2)	100 / 3000	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>	暗号化

Below the table is a '新しいボリュームの追加' (Add new volume) button. A blue information box contains the text: '無料利用枠の対象であるお客様は 30 GB までの EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックストレージを取得できます。無料利用枠の対象と使用制限に関する [詳細](#) はこちら。'

At the bottom of the console, there are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '戻る' (Back), and '確認と作成' (Confirm and Create). The '確認と作成' button is highlighted with a red dashed box, and a tooltip next to it says '次のステップ: タグの追加' (Next step: Add tags).



# 操作手順⑦

「次のステップ: セキュリティグループの設定」をクリックします。  
※タグは必要に応じて適宜設定してください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for adding tags. The breadcrumb trail includes: 1. AMI の選択, 2. インスタンスタイプを選択, 3. インスタンスの設定, 4. ストレージの追加, 5. タグの追加 (highlighted), 6. セキュリティグループの設定, 7. 確認.

**ステップ 5: タグの追加**  
タグは、大文字と小文字が区別されるキーと値のペアから構成されます。たとえば、キーに「Name」、値に「Webserver」を使用してタグを定義することができます。タグのコピーは、ボリューム、インスタンス、またはその両方に適用できます。タグは、すべてのインスタンスとボリュームに適用されます。Amazon EC2 リソースのタグ付けに関する [詳細はこちら](#)。

キー (最大 128 文字)	値 (最大 256 文字)	インスタンス ⓘ	ボリューム ⓘ	
Name	Nextcloud-19.0.0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(最大 50 個のタグ)

Buttons at the bottom: キャンセル, 戻る, 確認と作成, **次のステップ: セキュリティグループの設定** (highlighted with a red box).

Footer: フィードバック, 日本語, © 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー, 利用規約

# 操作手順⑧

“HTTP”, “SSH” を追加、「ソース : マイ IP」を選択し「確認と作成」をクリックします。

※モバイル端末からのアクセス等アクセス元を特定させずに確認する場合は、「HTTP」の「ソース」を「任意の場所」にします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for configuring a Security Group. The breadcrumb trail includes: 1. AMI の選択, 2. インスタンスタイプの選択, 3. インスタンスの設定, 4. ストレージの追加, 5. タグの追加, 6. セキュリティグループの設定, 7. 確認. The main heading is "ステップ 6: セキュリティグループの設定". Below the heading, there is a description of Security Groups and two radio buttons for "新しいセキュリティグループを作成する" (selected) and "既存のセキュリティグループを選択する". The "セキュリティグループ名" field contains "launch-wizard-9" and the "説明" field contains "launch-wizard-9 created 2020-06-05T13:10:26.739+09:00". A table of rules is shown with columns: タイプ, プロトコル, ポート範囲, ソース, and 説明. Two rules are listed: SSH (TCP, port 22, source: マイ IP) and HTTP (TCP, port 80, source: マイ IP). A "ルールの追加" button is at the bottom left of the table. At the bottom right of the console, there are buttons for "キャンセル", "戻る", and "確認と作成" (highlighted with a red box).

タイプ	プロトコル	ポート範囲	ソース	説明
SSH	TCP	22	マイ IP	例: SSH for Admin Desktop
HTTP	TCP	80	マイ IP	例: SSH for Admin Desktop

# 操作手順⑨

設定内容を確認して「起動」をクリックします。

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

## ステップ 7: インスタンス作成の確認

インスタンスの作成に関する詳細を確認してください。各セクションの変更に戻ることができます。[作成] をクリックして、インスタンスにキーペアを割り当て、作成処理を完了します。

▼ AMI の詳細 [AMI の編集](#)

**Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja\_JP - ami-0431d311897f051f7**  
Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja\_JP  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

▼ インスタンスタイプ [インスタンスタイプの編集](#)

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンス ストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス
t2.micro	可変	1	1	EBS のみ	-	Low to Moderate

▼ セキュリティグループ [セキュリティグループの編集](#)

セキュリティグループ名: launch-wizard-9  
説明: launch-wizard-9 created 2020-06-05T13:10:26.739+09:00

タイプ ⓘ	プロトコル ⓘ	ポート範囲 ⓘ	ソース ⓘ	説明 ⓘ
SSH	TCP	22		
HTTP	TCP	80		

▶ インスタンスの詳細 [インスタンスの詳細の編集](#)

▶ ストレージ [ストレージの編集](#)

▶ タグ [タグの編集](#)

キャンセル 戻る **起動**

フィードバック 日本語 © 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

# 操作手順⑩

SSH 接続を行うためのキーペアを作成します。キーペア名を入力して「キーペアのダウンロード」をクリックします。 ※ダウンロードしたファイルは絶対に紛失しないように気を付けてください。

The screenshot shows the AWS Management Console interface during the instance creation process. A modal dialog box is open, titled "既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。" (Select an existing key pair or create a new one). The dialog contains the following elements:

- A dropdown menu set to "新しいキーペアの作成" (Create new key pair).
- A text input field for the key pair name, containing "aws-nextcloud-test".
- A "キーペアのダウンロード" (Download key pair) button.
- A "キャンセル" (Cancel) button.
- A "インスタンスの作成" (Create instance) button.

Below the input field, there is a blue information box with a speech bubble icon containing the text: "続行するには、事前にプライベートキーファイル (\*.pem ファイル) をダウンロードする必要があります。それを、安全でアクセス可能な場所に保存します。一度作成されたファイルは再度ダウンロードすることはできなくなります。" (To continue, you must first download the private key file (\*.pem file)). Save it in a secure and accessible location. Files that have been created once cannot be downloaded again.)

The background of the console shows the "ステップ 7: インスタンス作成の確認" (Step 7: Confirm instance creation) page, with various configuration options like AMI, Instance Type, Security Group, and Storage visible.

# 操作手順⑪

「インスタンスの作成」ボタンが有効になりますのでこれをクリックします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface during the instance creation process. A modal dialog box is open, titled "既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。" (Select an existing key pair or create a new one). The dialog contains the following text:

キーペアは、AWS が保存するパブリックキーとユーザーが保存するプライベートキーファイルで構成されます。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に接続できます。Windows AMI の場合、プライベートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用されるパスワードを取得するために必要です。Linux AMI の場合、プライベートキーファイルを使用して安全に接続できます。

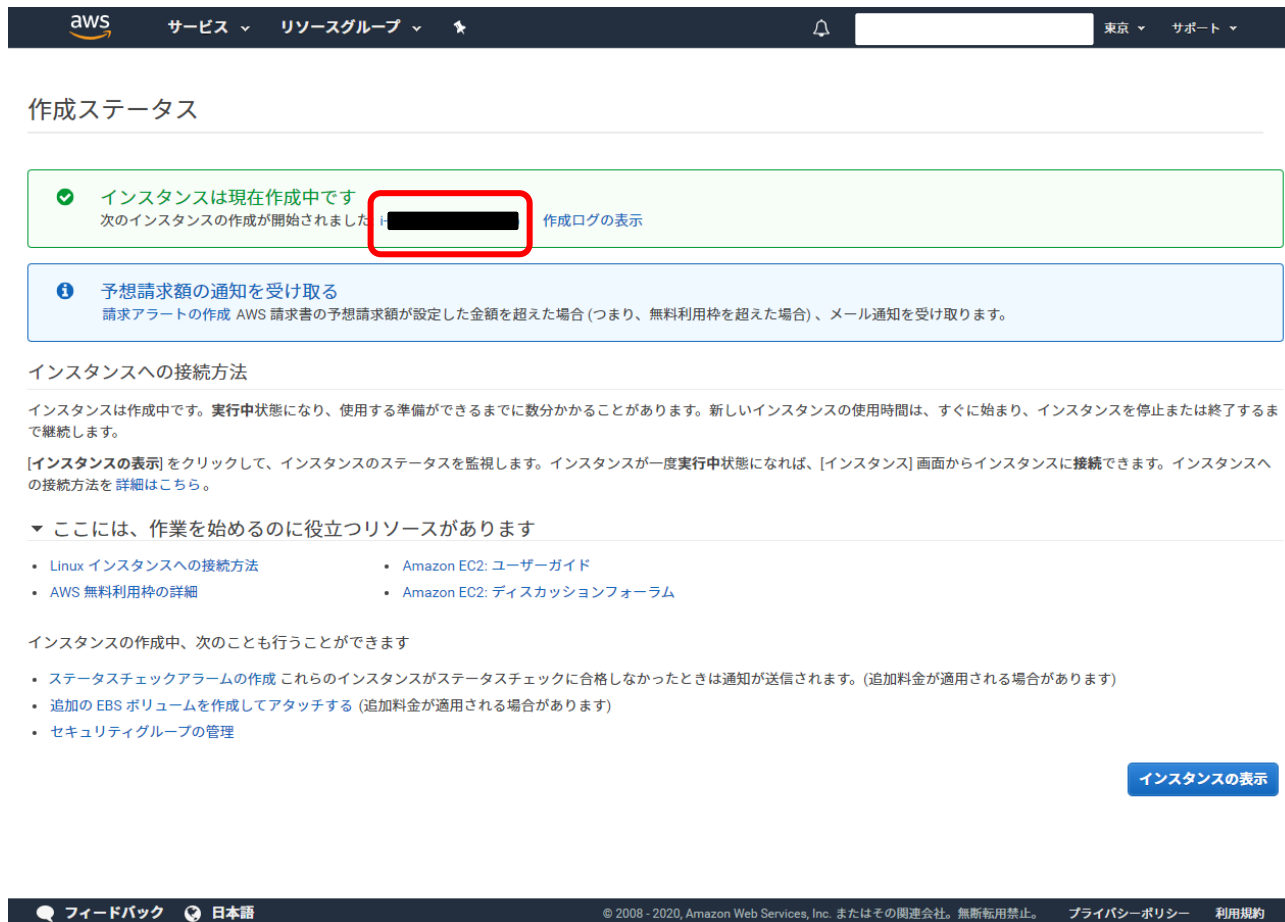
注: 選択したキーペアは、このインスタンスに対して権限がある一連のキーに追加されます。「パブリック AMI から既存のキーペアを削除する」の詳細情報をご覧ください。

The dialog includes a dropdown menu for "新しいキーペアの作成" (Create new key pair) and a text input field for the "キーペア名" (Key pair name) containing "aws-nextcloud-test". There is a "キーペアのダウンロード" (Download key pair) button. A blue information box at the bottom of the dialog states: "続行するには、事前にプライベートキーファイル (\*.pem ファイル) をダウンロードする必要があります。それを、安全でアクセス可能な場所に保存します。一度作成されたファイルは再度ダウンロードすることはできなくなります。" (To continue, you must first download the private key file (\*.pem file). Save it in a secure and accessible location. Once created, the file cannot be downloaded again.)

At the bottom of the dialog, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "インスタンスの作成" (Create Instance), which is highlighted with a red box. The background shows the "ステップ 7: インスタンス作成の確認" (Step 7: Confirm instance creation) page with various configuration options like AMI, Instance type, and Security groups.

# 操作手順⑫

赤枠部分のリンクをクリックします。



The screenshot shows the AWS Management Console interface. At the top, there is a navigation bar with the AWS logo, 'サービス' (Services), 'リソースグループ' (Resource Groups), a search bar, and '東京' (Tokyo) region with a 'サポート' (Support) dropdown. Below the navigation bar, the page title is '作成ステータス' (Creation Status). The main content area has a green background and contains a message: 'インスタンスは現在作成中です' (Instance is currently being created) with a sub-message '次のインスタンスの作成が開始されました' (Creation of the next instance has started). A red box highlights the instance ID 'i-XXXXXXXXXX' and the '作成ログの表示' (View logs) link. Below this is a blue information box with the title '予想請求額の通知を受け取る' (Receive estimated billing notifications) and the text '請求アラートの作成 AWS 請求書の予想請求額が設定した金額を超えた場合 (つまり、無料利用枠を超えた場合)、メール通知を受け取ります。' (Create billing alerts. Receive email notifications when the estimated amount on the AWS bill exceeds the amount you set (that is, when you exceed the free usage allowance)).

インスタンスへの接続方法

インスタンスは作成中です。実行中状態になり、使用する準備ができるまでに数分かかることがあります。新しいインスタンスの使用時間は、すぐに始まり、インスタンスを停止または終了するまで継続します。

[インスタンスの表示] をクリックして、インスタンスのステータスを監視します。インスタンスが一度実行中状態になれば、[インスタンス] 画面からインスタンスに接続できます。インスタンスへの接続方法を [詳細はこちら](#)。

▼ ここには、作業を始めるのに役立つリソースがあります

- Linux インスタンスへの接続方法
- AWS 無料利用枠の詳細
- Amazon EC2: ユーザーガイド
- Amazon EC2: ディスカッションフォーラム

インスタンスの作成中、次のことも行うことができます

- ステータスチェックアラームの作成 これらのインスタンスがステータスチェックに合格しなかったときは通知が送信されます。(追加料金が適用される場合があります)
- 追加の EBS ボリュームを作成してアタッチする (追加料金が適用される場合があります)
- セキュリティグループの管理

[インスタンスの表示](#)

フィードバック 日本語

© 2008 - 2020, Amazon Web Services, Inc. またはその関連会社。無断転用禁止。 プライバシーポリシー 利用規約

# 操作手順⑬

パブリック DNS (IPv4) にマウスカーソルをあて表示されるアイコンをクリックします。「パブリック DNS (IPv4)」の内容がクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the AWS Management Console interface. The main content area displays the details for an EC2 instance named 'Nextcloud-19.0.0'. The instance is in a 'running' state. The 'Public DNS (IPv4)' field is highlighted with a red box, and a tooltip indicates that clicking the copy icon will copy the address to the clipboard.

説明	ステータスチェック	モニタリング	タグ
インスタンス ID	[REDACTED]	パブリック DNS (IPv4)	ec2-[REDACTED].ap-northeast-1.compute.amazonaws.com
インスタンスの状態	running	IPv4 パブリック IP	[REDACTED]
インスタンスタイプ	t2.micro	IPv6 IP	-
検索中	推奨事項については、AWS Compute Optimizer にオプトインしてください。詳細はこちら	Elastic IP	-
プライベート DNS	ip-[REDACTED].ap-northeast-1.compute.internal	アベイラビリティゾーン	ap-northeast-1c
プライベート IP	[REDACTED]	セキュリティグループ	launch-wizard-9. インバウンドルールの表示、アウトバウンドルールの表示
セカンダリプライベート IP	-	予定されているイベント	予定されているイベントはありません
VPC ID	vpc-[REDACTED]	AMI ID	Nextcloud-19.0.0-RHEL8-ja_JP (ami-0431d311897f051f7)
サブネット ID	subnet-[REDACTED]	Platform details	Red Hat Enterprise Linux
ネットワークインターフェイス	eth0	Usage operation	RunInstances:0010
IAM ロール	-	送信元/送信先チェック	True
キーペア名	aws-nextcloud-test	T2/T3 無制限	無効

# 操作手順⑭

ブラウザで URL “http://( コピーしたパブリック DNS )” にアクセスします。  
吹き出しの説明のとおり設定をして「セットアップを完了します」をクリックします。

The screenshot shows the Nextcloud administrator setup interface. At the top is the Nextcloud logo. Below it, the text reads "管理者アカウントを作成してください" (Please create an administrator account). There are two input fields: the first contains "admin" and the second contains ".....". Below these fields is a section titled "ストレージとデータベース" (Storage and Database) with a "パフォーマンス警告" (Performance Warning) box. At the bottom, there is a checkbox labeled "推奨アプリをインストール" (Install recommended apps) with the text "Calendar, Contacts, Talk, Mail & Collaborative editing" below it. A large button at the bottom center says "セットアップを完了します" (Finish setup).

Callouts in the image:

- 作成する管理者アカウントのユーザー名 (Administrator account username) - points to the "admin" input field.
- 作成する管理者アカウントのパスワード (Administrator account password) - points to the "....." input field.
- チェックを外す (Uncheck) - points to the "推奨アプリをインストール" checkbox.
- セットアップを完了します (Finish setup) - points to the bottom button.



## 操作手順⑮

この画面が表示されるとセットアップ完了です。  
右上の「×」をクリックすると利用開始することができます。

